

愛ちゃん

社協だより

NO. 98

令和7年(2025)10月号

発行 | 社会福祉法人 立科町社会福祉協議会

TEL.0267-56-1825

FAX.0267-56-3815

今年も激アツ!
夏ボラ2025!!



学生のみなさんは、ボランティア活動でどんな体験をしてどんなことを感じたのでしょうか？

今月の記事

- | | |
|--|-----|
| ●夏ボラ2025～ボランティアでもっともっとアツい夏にしよう!～ | 2・3 |
| ●ただいまだより～夏満喫!ただいま子どもイベント2デイズ!～ | 4 |
| ●ふれ愛園だより～夏の研修旅行!!楽しんでできました～ | 5 |
| ●地域の活動紹介します～一投入魂!～●ただいまだより～ただいまがお蕎麦屋さんに?!～ | 6 |
| ●シニアクラブ連合会より写真コンテスト開催のお知らせ | 7 |
| ●10月から「赤い羽根の募金」スタートします 他 ●立科クイズ | 7 |
| ●たてしなふれ愛むらのお知らせ●バザー物品提供のお願い | 8 |

国道142号ごみ拾い



暑い中頑張りました!!

いろいろなお手伝い頑張ったよ!

- ・地域のために何かするって、いいことだと思った。
- ボランティア活動に参加してよかったです。
- ・達成感ややりがいを感じました。充実した1日だった。



たてしなホーム



おひさまの丘

どんな作品が出来上がるかな～?



陶芸作品づくり

- ・はじめてのボランティアでしたが、みんなで協力して楽しく参加できました。
- ・おもしろいおじいちゃんやお料理が上手なおじいちゃん、おばあちゃんがいるととても楽しかったし、お話をしてお勉強になりました。



まちの茶の間「ただいま」



みんなで協力して何ができるかな～?

- ・人とのつながりや交流する楽しさを学べたようです。良い機会となりました。
- ・夏ボラをきっかけにボランティア活動に興味をもってくれと嬉しいです。

(保護者の方より)



ボランティアで
もっともっと
アツい夏にしよう!

夏ボラ 2025 報告

小学生、中学生、高校生を対象に、夏休みの期間に町内の高齢者・障がい者事業所や社協でのボランティアを募集しました。

お一人暮らしの高齢者の皆さんへ宛て「絵手紙をかこう」



夏休みといえば：社協の夏ボラ！
今年度は延べ71名の小学生、中学生、高校生の皆さんに参加していただきました。
始めは緊張していた皆さんでしたが、帰る頃には達成感がみなぎり、自然と笑顔がこぼれていました。皆さんの貴重な夏休みを夏ボラでさらに有意義な体験にさせていただければ嬉しいです。また来年も待っていますよ～!

ボランティアコーディネーター 山越未来

ハートフルケアたてしな やすらぎ・ほほえみ・だんらん

夏祭りの
お手伝いボランティア



たくさんお話できるかな～?

普段経験できないようなことができた。
皆さん(利用者さん)とお話することができてよかったです。



夏、満喫!

ただいま子どもイベント2デイズ!



竹のお掃除をして



待ってました流しそうめん



真剣です!



夏休みに子ども達が集まりました。今年は応募多数で、2回に分けて開催! たくさんのご応募、ありがとうございました。
恒例の流しそうめんに水鉄砲で遊び、びしょ濡れになりながら夏を満喫しました。
たくさん食べた後は宿題タイム。みんなで頑張りました。
今回の制作は、宇山の山浦さんをお招きし、クラフトテープでかごを編みました。黙々と着々と出来上がるかご。難しいけど完成すると喜ぶ子ども達。出来上がったかごは、「お菓子を入れる!」「お母さんにプレゼントする!」と嬉しそうに持ち帰りました。

なんと!
竹でできた水鉄砲なんです!!
ちょっと難しいけど...とんだ〜!!



みてみて~!
こんなにかわいい
かごができたよ!



味付けもばっちり!



ただいまに来るのを楽しみにしてくれている子ども達。家のお手伝いでもらったお小遣いを持って参加してくれた子もいました。これからも、みんなが楽しめるイベントを企画していきます!
ご協力いただいた民生委員の皆様、ボランティアの皆様ありがとうございました。

夏の研修旅行!!

Let's enjoy!



楽しんできました～



たてしなふれ愛園だより

働く仲間の事業所

一泊研修旅行

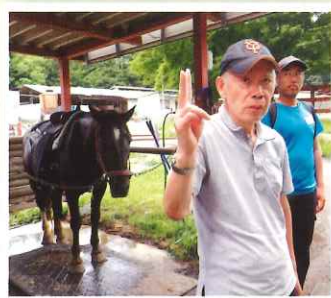


7月10日から7月11日にかけて
総勢16名で一泊研修旅行に行つてき
ました。新型コロナウイルス感染症の
影響もあり、一泊での旅行は約6年
振り。ソワソワしながら出発!!

野辺山天文台・JR鉄道最高地点
記念碑・道の駅八千穂高原など南佐
久方面の各名所の観光をしました。

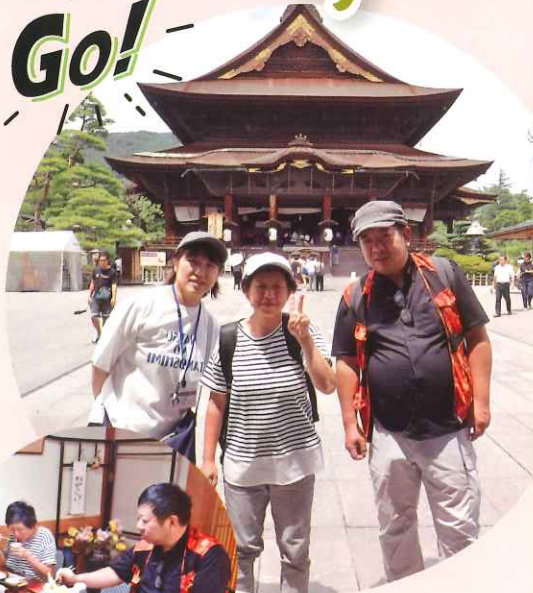
宿泊先のかすがの森に着いた後は
温泉や豪華な夕食を楽しみました。
その後は部屋でゆっくり過ごした
り、プチ宴会を楽しんだり、思い思い
の時間を過ごしました。

二日目はスエトシ牧場で動物の見
学や触れ合いを楽しみ、お昼に美味
しい御膳を食べて帰ってきました。



日帰り研修旅行

Go!



7月16日には4名で
日帰り研修旅行に行ってきました。
初の試みとして、みどりの窓口で乗
車券を購入して佐久平駅から新幹
線で長野駅に出発!!

八幡屋磯五郎で七味ソフトを食べ
たり、お土産選びを楽しみました。
お昼には美味しいお蕎麦を食べて、
その後は善光寺のお戒壇巡りと参
拝、駅ビルでの散策や買い物を楽し
んで帰ってきました。

今回の研修旅行を通して、利用
者さんの嬉しそうな表情や笑い
声、楽しそうに会話をしている姿
を多く見ることができ、みなさん
有意義な時間を過ごせたように
感じました。

地域の活動紹介します

一投入魂！古町シニアクラブ

今年2月の「ボッチャ体験」をきっかけに、ボッチャにはまった人が続出！

シニアクラブで道具を購入して、第2・4木曜日にボッチャの練習を続けています。取材に行った日は暑い日でしたが、タオルを首から下げ、運動靴に履き替える姿からは気合が感じられました。

チームに分かれ、早速対戦です。的となるジャックボールに自分の球をどれだけ近づけることができるかを競うもので、狙った場所に投げるのはもちろん難しい競技です。夫婦の熾烈な争いあり、フラインプレーでのグータッチありと一投ごとに大盛り上がり！

チーム戦の後は、的を置き個人練習。とにかく皆さん楽しそうで、笑顔があふれる練習会でした。「大会出たいね」なんて言葉も聞こえてきたり、本番に向けて、練習を重ねる皆さんでした。



地域の活動を続けていくことはエネルギーが必要ですが、集まる場所があると「笑顔」が生まれます。社会福祉協議会は

出かけたくなる場所

出合いがある場所

出番のある場所

3つの **出** のある場所 づくりを応援していきたいと思っています。



地域福祉コーディネーター 内藤 明香



ただいまがお蕎麦屋さんに?!

これが本物の蕎麦の味か!



こんなおいしい蕎麦初めて食べた!

忘れられないおいしさだな～

夏本番の暑さが続き、暑さに負けそうになっていたところ、笹井隆さん・村田実さんお二人の立科の蕎麦打ち名人が自前の道具一式を携えて、ただいまに来てくださいました。蕎麦打ちが披露されると聞き、月・金曜日の皆様も大集合です。

間近で見る蕎麦打ちに感動し、打ち立て茹でたてのおいしさに大興奮。お腹も心も大満足の日となりました。

暑中、本当にありがとうございます。またお待ちしております!!

担当職員 山木 美理



なんと!一円玉の薄さまでのはします!!まさに達人技!



立科産蕎麦粉を使った二八蕎麦おいしいよ～!

今が青春!! ~オラホの自慢~

会長賞
優秀賞
には
賞金を贈呈

立科町シニアクラブ連合会より 写真コンテストのお知らせ

募集期間 令和7年 **12月26日** 必着

立科町シニアクラブ連合会では、第一回写真コンテストを行います。
お申し込みいただいた作品の中から選ばれた連合会会長賞・優秀賞には賞金をご用意しております!シニアクラブ会員の皆様、ぜひ奮ってご参加ください。

応募資格

立科町シニアクラブ会員

テーマ

「今が青春!!
~オラホの自慢~」

※人物が入っているもの
※元気で輝くシニア世代が
映っているもの

応募条件・応募方法、その他詳細につきましては、募集要項をご覧ください。

お問い合わせ

・各地区シニアクラブ支部長
・立科町シニアクラブ連合会事務局
(立科町社会福祉協議会)
TEL 0267-56-1825

赤い羽根共同募金へのご協力のお願い ~支える人を支える募金~

赤い羽根共同募金は、全国各地で年間4万人を超える福祉活動に助成を行っています。
そうした活動の多くが地域で困っている誰かを支える活動であり、共同募金は支える人を支えています。
赤い羽根共同募金は、いま地域で特に必要とされている活動を応援しています。



立科町でこんな福祉事業に活用されています

- 福祉自動車の貸し出し・ボランティア養成講座や
夏休み中のボランティア体験・紙の門松の配布など
- 1人暮らしの高齢者への見守り配食サービス(お達者弁当)や
生きがい居場所づくり(おむすびサロン)
- 障がい児・障がい者の交流事業(希望の旅)
- 小学校・中学校・高校での福祉活動への助成金

皆さまの温かいご支援、ご協力をお願いいたします

ちょっと一息
頭の体操

立科町クイズ

第1問

これから旬を迎える長野生まれのオリジナル品種「秋映」「シナノスイート」「シナノゴールド」の総称は?

💡 3品種は収穫時期が異なり、秋から初冬にかけて順番に楽しめます。

① りんご三兄弟 ② りんごトリオ

第2問

日本一標高の高い花火大会と言われる『白樺高原花火大会』が開催されました。会場の女神湖の湖面標高は?

💡 立科町役場の標高は712mだよ。

① 960m ② 1,540m

前回の答え 第1問「①16番目」 第2問「②長久保宿」

官製はがきに①から⑤をご記入の上、立科町社会福祉協議会へお送りください。

①氏名 ②住所 ③電話番号 ④クイズの答え
⑤今号の社協だよりのご意見・ご感想

当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

■お問合せ 社会福祉法人
立科町社会福祉協議会
〒384-2305 北佐久郡立科町芦田2523
TEL 0267-56-1825

ご寄付のご協力
ありがとうございました

匿名 3,422円
お手玉用あずき1.6kg

いただいたご寄付は、地域福祉の推進、お手玉作りに活用させていただきます。

愛ちゃんは町のテレワーカー
が携わっています

清水 舞 鈴木 美保 田原 千雅
鈴木 裕見子 山本 ひかり

第18回

たてしなふれ愛むら

＜開催日時＞ 令和7年10月25日(土)

午前10時～午後2時30分

＜場所＞ 老人福祉センター及びその周辺

テーマ

お互いを信じる
～信じあい交流することで多様な個性を輝かせる～

内容

福祉リサイクル
バザー

地域の協力団体の
皆様によるステージ発表

障がい福祉関係団体等の
皆様による販売・展示コーナー

お問い合わせ
たてしなふれ愛園
電話 0267-56-3721
FAX 0267-56-2516

私たちは立科町で暮らしています。
私たちひとり一人は年齢や性別等は異なりますが、互いに尊重しながら生活しています。
「たてしなふれ愛むら」は「個性や多様性を理解し合い共に地域で生き生きと暮らしている事を祝う」イベントです。

福祉リサイクルバザー 品物提供のお願い

バザーの収益は、住民貸出用福祉車両購入のための資金になります。

受入期間 10月18日(土)～10月23日(木) 9:30～16:30

期間中は土曜・日曜も受入いたします！

受入場所 老人福祉センター

提供していただきたい品物

新品・未使用品のみ

食器

食品

日用品

くつ

生活雑貨

衣類

家電

寝具

バッグ

帽子

家具

福祉リサイクルバザーについてのお問合せ 立科町社会福祉協議会 電話0267-56-1825